

# 南区 大生学区 避難所マップ

## 気を付けて!(地震編)

- 1. 空き家**  
耐震性が低いと倒壊しやすく、無人のため火災延焼の危険がある。
- 2. 古い(高い)ブロック塀**  
大きな地震では倒壊する危険があるためすぐ離れる。近づかない。
- 3. 狭い道**  
近くの家が倒壊した時、道がふさがれて通れなくなる可能性がある。
- 4. 電線**  
切れた電線は停電時でも感電の危険がある。近づかない。



- 5. 瓦屋根**  
大きな揺れの際には瓦の落下危険がある。瓦屋根のある家屋に住んでいる方は、あわてて外に飛び出さない。

## 津波避難のポイント

- 1. 徒歩で避難を**  
原則、車で避難しない。車での避難は渋滞を引き起こし、かえって避難の妨げになる。



- 2. 海岸や川沿いには近づかない**  
地震の後は、護岸や堤防が被害を受けている可能性がある。非常に危険なので近づかない。



- 3. 寄り道はしない**  
津波からの避難は一刻を争うため、家のことを心配して引き返したり、貴重品などを取りに戻ったりせず、周囲に声をかけながらまっすぐ避難先に向かう。



## 日頃の心得

お住まいの地域のことを知っておくことは大切です。ハザードマップをはじめとした災害リスクや避難先のほか、地形、歴史、建物状況(密集状況や古いブロック塀など)及び防災活動状況等を確認し、家族や町内会・自治会で話し合うなど、日頃から防災、減災意識を高め、いざという時に備えましょう。

参考資料として「地区防災カルテ」をご活用下さい。

<http://www.city.nagoya.jp/bosaikikikanri/page/0000110628.html>

名古屋市区 地区防災カルテ 検索



## 避難所・避難場所



### 指定避難所一覧

- 大生小学校
- 名古屋南高校
- 南生涯学習センター
- 日本ガイシスポーツプラザ
- 大生ふれあいセンター



### 津波避難ビル一覧

- 大生小学校
- 名古屋南高校
- スポーツ振興会館
- 宿泊研修室
- 小島ビル
- 特別養護老人ホーム南生苑
- 大生荘1号棟
- 大生荘2号棟
- 第三大生荘1号棟
- 第三大生荘2号棟



## 凡例

津波避難ビル		・津波浸水区域外へ逃げるとまがない場合に、津波から命を守る一時的な緊急避難場所 ・頑丈な3階建て以上の建物や高台など
広域避難場所		・地震の揺れや大規模な火災に対する緊急避難場所 ・大震災から避難者を守るための空間を有する公園・緑地など
指定避難所		・自宅が被災して帰宅できない場合、一定期間、生活を送るところ ・学校やコミュニティセンターなど
一時集合場所		・災害時、町内会や自治会単位のいわゆる「自主防災組織」で、近隣住民の安否確認や被害を確認するところとして、近くの公園や広場などであらかじめ決めておく、最寄の集合場所

## 大生学区の行動要領（地震編）

＜保存用＞冷蔵庫などよく見える場所に掲示してください！！

### 震災リスクまとめ

- 南海トラフ巨大地震が発生した場合、**震度6強**の激しい揺れが予想されます。
- 学区の広い範囲で**津波浸水**の可能性があります、住宅地では**最大1.5m**の浸水が**120～240分後**に始まります。この時間を最大限に使い、**浸水想定区域外（JR東海道本線以東）**へ避難しましょう。その余裕がない場合には、**2～3階以上の建物**又は**津波避難ビル**に避難しましょう。
- 学区の広い範囲で**液状化現象**が起こる可能性が高いです。建物が傾いたり、道路に泥水が溢れ出し、通ることが出来なくなるおそれがあります。
- 建物が倒壊**して道を塞いだり、**火災が延焼**し、強く熱風が吹き荒れるおそれがあります。  
**適切な避難先と、そこまで安全にたどり着くための経路をあらかじめ考えておきましょう！**

### 我が家の避難先

	津波浸水の危険がある場合 (津波避難ビルなど)	余震が続く場合 (広域避難場所など)	大規模な火災が発生した場合 (広域避難場所など)
自宅にとどまると命を守れない場合 (指定緊急避難場所)	① ② ③		
自宅が被災して住めなくなった場合 (指定避難所)			

### 《大生学区 震災の行動要領》

- 自宅
- ①家具から離れ、頭を守り、**身の安全を確保**しましょう。
  - ②靴やスリッパを履き、出入口を確保しましょう。
  - ③家族の安否確認・自宅の被害状況の確認をしましょう。
  - ④電気の**ブレーカー**を落とし、**ガスの元栓**を閉めましょう。
- 地域
- ① 避難する際は、**玄関にタオル**を掛け無事を知らせましょう。
  - ② 町内会ごとの**一時集合場所**に集まります。
  - ③ 一時集合場所で**安否確認・被害情報**を集めたり、情報伝達を行います。
  - ④ 救助を必要とする人を見つけたら、周りに声を掛け元気な人が助けましょう。
  - ⑤ **地域みんなで協力**し、**適切な避難場所へ避難**しましょう。